

04-031

近世 22.7-04-031



中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中
十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二
會	穿	奉	傳	轉	殺	然	榮	任	慎	朱	河	同	成	繼
式	屋	海	馬	義	圖	谷	勝	吉	明	迎	城	貳	鄉	谷
宗	鋪	統	明	總	老	溫	庚	是	威	冬	内	潛	岸	辰
糸	益	茶	家	子	公	純	申	香	祚	國	攝	矣	舟	海
信	渡	屋	内	別	捕	屋	横	志	符	名	獨	見	屋	外
の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の
場	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場

我 捐 我 捐
 清元
 連中
 田代千代
 九幕
 海國新編
 清元
 連中



一頁目 本々伊勢屋の協同 代邊町新地場の協同



二頁目 新地場の協同 代邊町新地場の協同

八幕目 上棟町貸附筋の場



中満来 任志是母見世の場





五番目 試行行補物の場



返り松之助松之助の場



返り松之助松之助の場

五番目 試行行補物の場

五幕目 傳馬町案内の場



廻一 家屋敷の場



溜 溜 溜
お六
お七
お八
お九
お十
お十一
お十二
お十三
お十四
お十五
お十六
お十七
お十八
お十九
お二十
お二十一
お二十二
お二十三
お二十四
お二十五
お二十六
お二十七
お二十八
お二十九
お三十
お三十一
お三十二
お三十三
お三十四
お三十五
お三十六
お三十七
お三十八
お三十九
お四十
お四十一
お四十二
お四十三
お四十四
お四十五
お四十六
お四十七
お四十八
お四十九
お五十

お六
お七
お八
お九
お十
お十一
お十二
お十三
お十四
お十五
お十六
お十七
お十八
お十九
お二十
お二十一
お二十二
お二十三
お二十四
お二十五
お二十六
お二十七
お二十八
お二十九
お三十
お三十一
お三十二
お三十三
お三十四
お三十五
お三十六
お三十七
お三十八
お三十九
お四十
お四十一
お四十二
お四十三
お四十四
お四十五
お四十六
お四十七
お四十八
お四十九
お五十



清元 宗春 大夫 清元 喜和 大夫 三味線 清元 梅 吉
 清元 喜久 大夫 上相子 清元 象 一
 清元 延壽 大夫 日 相齋 大夫 上相子 清元 象 一
 清元 象磨 大夫 日 藤齋 大夫 上相子 清元 象 一
 清元 春太 大夫 日 延花 大夫 日 三味線 清元 壽 松 源
 清元 春律 大夫 清元 仲 大夫 三味線 清元 壽 松 源

洋留 籬 竹本 首 浦 大夫 竹本 欽 賢 大夫

狂言

竹本 榮 籬 清元 志 遠
 竹本 榮 籬 清元 志 遠
 竹本 榮 籬 清元 志 遠
 竹本 榮 籬 清元 志 遠
 竹本 榮 籬 清元 志 遠

作者

古河 新 八 云

明治十八年十一月廿二日 古河新八云

明治十八年十一月廿二日 古河新八云

三味線 清元 梅 吉 日 藤齋 大夫 上相子 清元 象 一

千代 傳 万 年 幸 大 之 可 須 取 法 行 由 務

症 長 坂 藤 市 太 郎

千代 傳 万 年 幸

症 主

高 濱 敷 勲 吉

版元 日本 瑞 隆 社 一 冊 之 取 銀 三 角 八 分